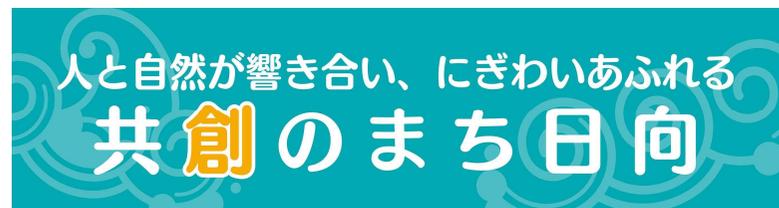


人と自然が響き合い、にぎわいあふれる
共創のまち日向

令和7年度 「企業版ふるさと納税」のお願い

宮崎県日向市

目次



1 「宮崎県日向市」のご紹介P.1
2 企業版ふるさと納税制度の概要P.2
3 寄附企業様へ提供するベネフィットP.3
4 日向市の地方創生に向けた戦略P.4
5 注目プロジェクト	
(1) 市民共創!! 図書館複合施設整備事業プロジェクトP.5
(2) 三位一体の教育～ひゅうが学びの学校～P.6
(3) 企業の成長を応援！プロ人材マッチング支援事業P.7
(4) 日向の魅力プロモーション推進事業P.8
(5) 日向市総合体育館整備事業P.9
(6) AIを活用した公共交通サービスP.10

「宮崎県日向市」のご紹介

日向市の概要

当市は、宮崎県の北部に位置し、全国でも有数の温暖で晴天に恵まれた地域です。
人口規模は、県内4番目で、東九州の扇の“かなめ”である重要港湾「細島港」を中心に、インフラ整備や産業集積等を進め、県内随一の港湾工業都市として発展してきました。
市の自慢は、海・山・川の美しい自然、都会にはない“ゆっくり”と流れる時間、人間味あふれる温かな市民の皆さんです。

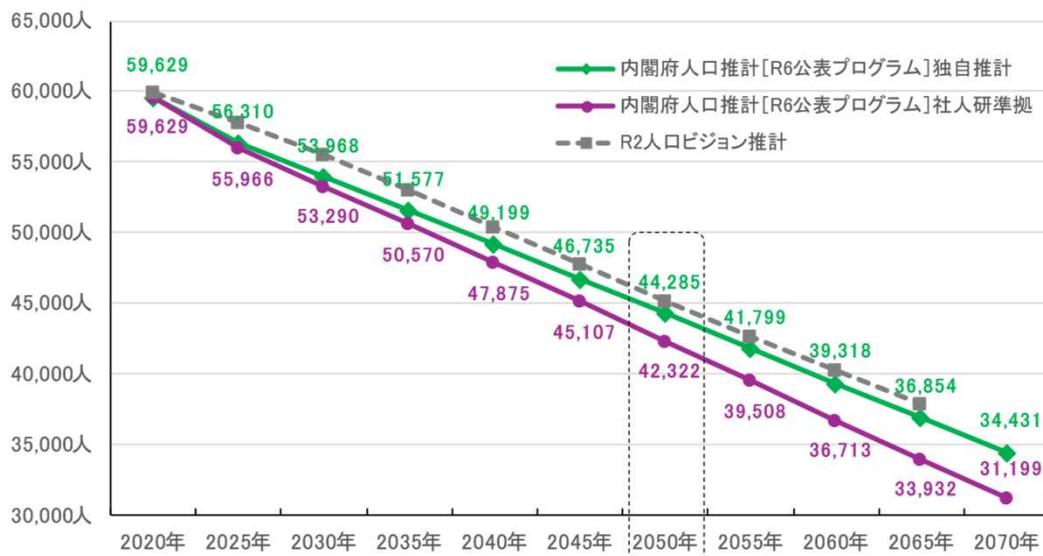
日向市の将来展望

社会保障・人口問題研究所の人口予測では、当市の**2050年の人口は、42,322人と推計**されており、今後、急速に人口減少が進むとともに、少子高齢化により生産年齢人口が減少し、産業や地域社会の担い手不足が懸念されます。

当市では「**2050年に人口44,000人を維持することを目標**」に、第3期日向市総合戦略に基づき、地方創生に取り組みます。



- 人口 56,360人(R7.4.1)
- 年間平均気温 約17℃
- 年間日照時間 2,000時間



日向ひよっこ踊り



日本の渚百選 お倉ヶ浜 遠望



重要港湾「細島港」



日向岬「馬ヶ背」

企業版ふるさと納税制度の概要

企業版ふるさと納税制度の概要

国が認定した地方創生プロジェクトに対して、企業が寄附を行った場合に、寄附額の最大6割を法人関係税から税額控除する仕組みです。損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせて、寄附額の最大約9割が軽減されます。

当市では「第3期日向市総合戦略を包括的に地域再生計画として認定を受けており、同戦略の事業全てが対象」です。



内閣府「企業版ふるさと納税リーフレット」から抜粋

制度活用の流れ・留意事項

- 1回あたり**10万円以上の寄附**が対象です。
- 代償として**経済的利益を受け取ることは禁止**されています。
- **本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外**です。

企業の皆さまのメリット

- SDGsやESGへ寄与
- 寄附額に応じてベネフィットの提供（P.3参照）
- 法人関係税の大きな軽減効果
- 地方公共団体との新たなパートナーシップの構築
- 創業地等の地域への恩返し

制度活用の流れ



【問い合わせ・企業版ふるさと納税担当】

総合政策部 総合政策課 政策推進係
TEL 0982-66-1001
Mail sougou@hyugacity.jp

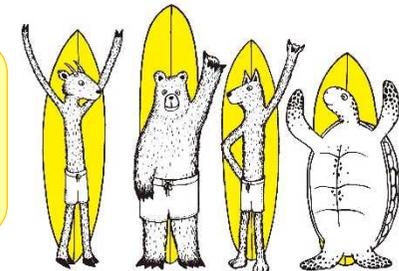


日向市HP

寄附企業様へ提供するベネフィット

	10万円～50万円未満	50万円～100万円未満	100万円以上
贈呈式 (感謝状・目録等)	-	-	○
広報紙への掲載	-	○	○
市政記者クラブへの情報提供 (寄附額が公表可能な場合)	-	○	○
SNSでの公表 (ライン・フェイスブック・アプリ)	○	○	○
ホームページへの掲載	○ (企業名+HPリンク)	○ (企業名+HPリンク)	○ (企業名+HPリンク+企業コメント)

- 別途事業毎に、ご提案させていただくベネフィットもございます。
- 上記のほか、**1,000万円以上の寄附は、紺綬褒章の対象**として推薦いたします。



日向市の地方創生に向けた戦略

重点戦略

基本戦略1

安心して子どもを産み育てられるまちをつくる

基本戦略2

安定した雇用と稼ぐ地域をつくる

基本戦略3

地域資源を生かして新しい人の流れをつくる

基本戦略4

安全・安心で利便性の高いまちをつくる

基本目標

I 子育て・教育

次代を担う心豊かな子どもを育む、安心して産み育てられるまち

II 健康・福祉

みんなで支え合い、いきいきと暮らせる健康長寿のまち

III 産業・交流

活力とにぎわいにあふれ、交流が広がり、将来にわたって誇れるまち

IV 生活環境

人と地球に優しく、安全で安心して生活できる災害に強いまち

V 社会基盤

豊かな自然と調和し、快適で利便性の高いまち

VI 人権・市民協働

個性と多様性を認め合い、誰もが自分らしく幸せに暮らせる共生のまち



第3期日向市総合戦略において優先的かつ重点的に取り組む施策を「重点戦略」とし、地域ビジョンである「**子どもが故郷（ふるさと）に誇りを持てるまち、未来に希望をつなぐまち 日向**」を実現するために4つの基本戦略を推進します。



基本戦略1

安心して子どもを産み育てられるまちをつくる

市民共創!! 図書館複合施設整備事業プロジェクト



概要（背景、課題等）・目指す将来像

日向市では、令和7年2月に「学びの種をまき、創造の芽を育て、希望の実を結ぶ 市民のサードプレイス」を基本理念とする「日向市図書館複合施設整備基本方針」を策定しました。

新しい図書館は、主なターゲットを子どもや若者、子育て世代と設定し、今後、具体的な施設の機能について検討を行います。また、検討にあたっては、市の最上位計画である「第3向日向市総合計画」の基本理念である市民との「共創」により取組を行うため、市民のアイデアやニーズを生かした対話プロジェクト「日向ラボ・ラボ」に取り組み、市民一人ひとりが図書館をより身近に感じられるようなアイデアを積極的に取り入れつつ、「学びや交流の拠点」として市民のサードプレイスとなる複合施設の整備を進めていきます。

寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容） 〈R7年度総事業費：1,954万円〉

【日向ラボ・ラボの実施】

- 市民や団体、企業、行政といったあらゆる立場の人が、「新しい図書館がサードプレイスとなるために必要なことは」をテーマに意見交換。
- 子どもや子育て世帯を主なターゲットとしたイベント（移動遊び場、移動図書館、パークールおにごっこ 等）を実施。
- 様々なワークショップや体験型プログラムが開催できる機会を設け、実践的な学びと創造の場を提供。新しい「学び」について考える。
- 新しい図書館複合施設に欲しい機能を考え、イメージ図（ゾーニング）を作成。
- 新しい図書館複合施設の整備候補地と周辺を歩き、周辺の施設との連携や回遊性の方法を考えます。

【ニーズ調査の実施】

- 若者や子ども、子育て世帯を対象としたアンケート、意見交換の実施

【日向市図書館複合施設整備基本構想の策定】

- 新しい図書館複合施設の機能や規模を示す構想を策定

※新しい図書館複合施設の供用開始は、令和13～14年度頃を予定しています。

寄附を頂いた企業様へのご提案

- WEBサイトやSNS等での情報発信
内容等は寄付後に調整させていただきます。

※100万円以上の寄附を頂いた企業様が対象です。
※基本的なベネフィットとは別に、この事業への寄附のみのご提案です。



【事業の担当】

総合政策部 総合政策課 図書館複合施設準備係
TEL 0982-66-1001 / FAX 0982-54-8747
Mail sougou@hyugacity.jp

基本戦略1

安心して子どもを産み育てられるまちをつくる

三位一体の教育～ひゅうが学びの学校～

〈SDGs〉関連するゴール



概要（背景、課題等）・目指す将来像

当市では、生きる力を備えた子どもの育成を目指し「キャリア教育」「義務教育9年間を見据えた系統的な学習」「地域とともにある学校づくりとしてのコミュニティ・スクールの推進」など、三位一体の教育に取り組んでいます。その中でもキャリア教育は、たくましく生きる力を備えた子どもの育成を図るための根幹をなすものであり、将来、自立した社会人・職業人となるために学校、家庭、地域、企業等が連携を深めながら一体となって取り組む必要があります。また、キャリア教育を通じて、日向市の自然や歴史、産業や文化を理解することで、それらを愛する郷土愛の醸成についても期待ができる事業です。

寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容）〈R7年度総事業費：1,310万円〉

【キャリア教育推進事業の継続と活性化】

○ 『よのなか教室』及び『14歳のよのなか挑戦』の推進

市内各学校のニーズに応じたキャリア教育が実施できるよう、研修会の開催や講師の派遣を行うとともに、よのなか先生の資質向上を図ります。また、市内中学校のニーズに応じた職業体験等を実施するために、協力事業所との協議調整をサポートし、研修会や事例発表会を開催するなど、協力事業所の受入体制の整備に取り組みます。

○ キャリア教育の推進に向けた市民や企業等への啓発、協力体制の構築

市民や企業に対して、キャリア教育の進捗状況、課題、期待される効果、さらに、企業等の事業参画の意義など、キャリア教育の目的や必要性について、各種情報ツールを活用し啓発を行います。



寄附を頂いた企業様へのご提案

■ ホームページや報道等での企業名の掲載・紹介

キャリア教育支援センターで運営するホームページ等に企業名を掲載するほか、学校での授業の様子など、報道機関等に積極的にリリースし、その際企業名等を紹介させていただきます。

※100万円以上の寄附を頂いた企業様が対象です。
※基本的なベネフィットとは別に、この事業への寄附のみのご提案です。

【事業の担当】

教育委員会 学校教育課 教育指導係

TEL 0982-66-1037 / FAX 0982-54-2189

Mail gakko@hyugacity.jp



概要（背景、課題等）・目指す将来像

日向市では、深刻化する人手不足の解消と地域産業の活性化を目指し、専門的な経験・知識・スキルを持つプロフェッショナル人材の活用・定着を目的とした「日向市プロ人材活用支援事業」を実施しています。
このようなプロ人材を地方の中小事業者が活用する新しい経営手法が年々拡大していることから、プロ人材活用の手法を拡大・定着し、中小企業者等の事業拡大などの支援を行います。

寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容） 〈R7年度総事業費：1,060万円〉

「プロ人材マッチング支援事業」では、地域の企業の皆さまが抱える様々な課題を、専門的なスキルや経験を持ち都市部で活躍するプロフェッショナル人材を活用して解決していただくことを目的としております。

近年の変化の激しい経済環境の中で、柔軟かつ迅速に対応できる体制の確保は、企業の競争力を維持・向上させるうえで非常に重要な要素です。各事業所の課題解決に必要なノウハウやスキルを持ち、かつ、その企業風土に合った人材を見付けることは容易ではないことから、市では、皆さまが必要な人材をスムーズに確保できるよう、今回のマッチング事業を通じて支援に取り組んでいるところです。

【昨年この事業に取り組んだ事業者からの声】

プロ人材の支援のもと、3か月で目標に達することができました。今は、次の目標を目指し、取り組みを始めたところです。

令和6年度中に実施した内容を日向市HPで紹介しています。

<https://www.hyugacity.jp/sp/display.php?cont=250402163827>



寄附を頂いた企業様へのご提案

- WEBサイトやSNS等での情報発信
内容等は寄付後に調整させていただきます。

※100万円以上の寄附を頂いた企業様が対象です。
※基本的なベネフィットとは別に、この事業への寄附のみのご提案です。

【事業の担当】

経済戦略部 商工港湾課 中小企業振興係
TEL 0982-66-1025 / FAX 0982-54-2639
Mail syoukou@hyugacity.jp

基本戦略3

地域資源を生かして新しい人の流れをつくる

日向の魅力プロモーション推進事業

〈SDGs〉関連するゴール



概要（背景、課題等）・目指す将来像

日向市は、豊かな自然環境や歴史、温暖な気候といった多様な地域資源に恵まれています。しかし、少子高齢化による人口減少や若者・女性の市外流出などにより、地域経済の活力が低下するという課題を抱えています。

第3向日向市総合計画に掲げる将来像「人と自然が響き合い、にぎわいあふれる共創のまち日向」の実現に向けて、シティプロモーションを通じて市民の地域に対する愛着や誇りを醸成し、地域の魅力を広く発信し、関係人口や交流人口の創出を目指します。

寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容） 〈R7年度総事業費：6,876万円〉

1) 観光・特産品PR推進事業

- 県内外でのイベントの開催
(関東方面、関西方面、宮崎市内などを予定)
- SNS等を活用したへべす等の特産品に関する情報発信
- 特産品の販売促進活動
- (仮称)ひゅうが魅力発信アンバサダーを通じた認知度向上

- 体験型観光コンテンツの実施
- ブランドイメージに合ったソフト事業の実施
- 本市の歴史文化を踏まえた観光コンテンツ

2) シティプロモーション構築事業

- ブランドコンセプトの策定
- 市民ワークショップ等の開催
- ロゴマーク等の制作
- プロモーション動画制作、WEBサイトの制作
- 戦略的なクロスメディア発信
(SNS広告、検索連動型広告、出版物とのタイアップ等)



寄附を頂いた企業様へのご提案

- WEBサイトやSNS等での情報発信
内容等は寄付後に調整させていただきます。

※100万円以上の寄附を頂いた企業様が対象です。
※基本的なベネフィットとは別に、この事業への寄附のみのご提案です。

【事業の担当】

経済戦略部 ふるさとプロモーション課 プロモーション係
TEL 0982-66-1026 / FAX 0982-54-2639
Mail f_promotion@hyugacity.jp

基本戦略3

地域資源を生かして新しい人の流れをつくる

日向市総合体育館整備事業

～未来へ向かい あふれる笑顔で多世代がつながる海と緑に囲まれた“健康長寿・スポーツ推進”拠点～

〈SDGs〉関連するゴール



現在の市体育センター及び武道館

概要（背景、課題等）・目指す将来像

現在の市体育センター及び武道館は、建設から55年が経過し、老朽化に加え耐震性にも課題があることから、利用者の安全性の確保が急務となっています。また、厳しい財政状況や将来の人口減少を見据えた施設のあり方や複合化の検討も必要な状況となっており、多様化する市民ニーズに応える設備の充実や自然災害に備えた中長期的に生活ができる場所としての役割を果たす拠点施設としての整備が求められています。

このような状況を踏まえ、市民の幅広いニーズに対応し、スポーツや健康づくりを推進するとともに災害時の非難拠点としても活用できる総合体育館の整備を目指します。

寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容） 〈R7年度総事業費：13億7,884万円〉

日向市総合体育館整備事業 事業費 42億円

（前年度まで：4億4,060万円、今年度：13億7,840万円、次年度以降：23億8,100万円）

日向市総合体育館の建設については、民間事業者の技術力とノウハウを生かした設計・施工を一括して発注するデザインビルド方式（DB方式）を採用し、スポーツをする機会が少ないと思われる子育て世代やスポーツをされない方なども、魅力的で気軽に利用できる体育館を目指し、市民の誰もが安心して楽しく利用できる憩いの場としての活用を図っていきます。

令和7年度は、「日向市総合体育館整備基本計画」に基づき、建設工事に取り組み、令和8年10月の供用開始を目指します。



アリーナ内観イメージ



県産材の内装による武道場



外観イメージ



市民の交流拠点となるコミュニティホール



バスケットボール（少年男女）の競技が開催されます。

【事業の担当】

経済戦略部 スポーツ振興課 体育館建設係

TEL 0982-66-1039 / FAX 0982-54-2639

Mail spo@hyugacity.jp



概要（背景、課題等）・目指す将来像

日向市の市民バスは、市街地でも平日5便と利用が限られるため、利用者は、ピーク時のR1年81,096人からR6年64,546人と約20%減少しています。一方、燃料費高騰や人件費上昇の影響で、収支率が悪化しており、現状の固定路線でのバスの増便は難しい状況です。

車を運転できない高齢者や中高生からは利便性の高い公共交通の導入が望まれているため、市民バスの課題を解消し、乗車リクエストに応じてAIが最適経路をリアルタイムで設定するA I オンデマンド交通を導入します。このことにより、乗換え負担や交通空白時間の解消、観光地アクセス強化にも貢献する持続可能な公共交通を実現し、「住み続けたいくなるまち日向」を目指します。

寄附を活用する内容（今年度取組む具体的な事業内容） 〈R 7年度総事業費：4,499万円〉

【A I オンデマンド交通の導入】

令和7年度下半期に、市街地路線のエリアにA Iを活用した利用者の要求に応じた配車（On demand配車）を行うA I オンデマンド交通の実証運行を行います。

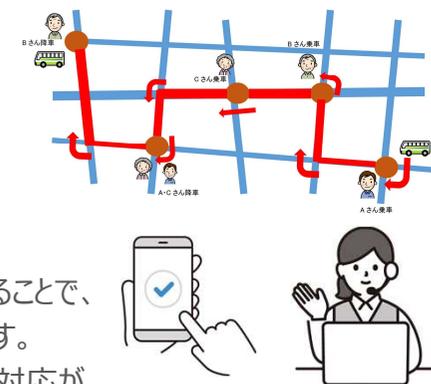
【特徴】

スマートフォンや電話による運行予約とA Iを活用した最適なルート設定により、ダイヤにとらわれず、必要な時に必要な場所へ移動することが可能になります。また、バスの待ち時間を減らすことができるとともに、スマートフォン上で予約したバスの運行状況を把握することができるので、バス待ちの際の不安を解消できます。

【効果】

乗降場所を現行から100箇所程度増やすことで、バス停までの移動距離の短縮や、バス停を新たに設置することで、車を運転することができない市民や観光客の移動利便性の向上が図れ、新たな地域内経済循環が生まれます。

また、送迎に利用されていた自家用車利用を抑制することで、CO2排出量削減が見込まれ、気候変動への対応が図れます。



寄附を頂いた企業様へのご提案

- オンデマンドバスへの企業名の掲載
市内を1日中循環するオンデマンドバスに寄付企業のPRができます。
 - オンデマンドバス（予約案内）HPに寄付企業の掲載
この交通に関心のある方に寄付企業のPRが可能になります。
- ※100万円以上の寄附を頂いた企業様が対象です。
※基本的なベネフィットとは別に、この事業への寄附のみのご提案です。

【事業の担当】

建設部 都市政策課 総務・交通係

TEL 0982-66-1030 / FAX 0982-54-2639

Mail toshi@hyugacity.jp